

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2019/06/10

第 45 号

ご安全に！

本号では、基幹労連代表として参議院選挙（比例代表）にチャレンジ中の田中候補予定者への一層の支援をお願いすると共に、5月より実施しています地方ブロック懇談会の様子をお伝えし、第90回メーデーと基幹労連中央退職者の会第1回会員交流会の報告に加え、連携して田中支援取り組みを展開しているJAMシニアクラブからのメッセージを掲載しています。

田中ひさや候補予定者支援の輪拡大に一層のご協力を！！

いよいよ第25回参議院議員選挙が迫ってきました。

基幹労連は、3月末までに約70万の支援・紹介者を結集し、足元ではその定着活動に懸命に取り組んでいます。JAMにおいても同様に組合員の支援を確たるものとするべく、職場活動にまい進していると聞いています。世情「衆参同日選」が取り沙汰されるなど、選挙動静は一層混沌としており、厳しさが増しているとみておかなければなりません。

参議院比例代表選挙は、浮動票を当てにする選挙ではありません。田中候補の場合、基幹労連とJAMの組合員そして家族・縁者、OBしか投票してくれる可能性がないと言っても過言でないでしょう。

我々の代表として国政で活躍してもらうには、我々が送り出すしかない選挙

です。今まで以上の支援者結集が不可欠だという現実を直視して、支援者拡大に最後まで取り組もうではありませんか。

前号ニュースでご要請しているように、中央・地方のシニアクラブ役員を核に“会員間のコミュニケーション力”によって支援を確たるものとし、拡大していく取り組みを粘り強く展開していただくよう、重ねてお願い申し上げます。



**地方ブロック懇談会において、
活動交流や政策実現とりのくみについて活発に意見交流を行う！！**

5月より順次開催してきました「地方ブロック懇談会」の様子をご紹介します。

これまでの実施状況は、北信越ブロック（5月13日 10名参加）、四国ブロック（5月15日 10名参加）、中国ブロック（5月16日 11名参加）、近畿ブロック（5月16日 12名参加）、北海道・東北ブロック（5月17日 15名参加）、東海ブロック（5月20日 13名）となっております。（今後の予定：九州6/8、関東6/10）

懇談会は、シニアクラブ・基幹労連の活動報告、各県退職者の会の活動交流、政策実現（田中支援）取り組みへの協力要請、そして諸課題に関する意見交流という流れで、活発に行われました。

政策実現については、厳しい実態を理解した上で「意義と必要性は共有できる。会員にできる限り協力を呼びかけていく」と現役と一体となって粘り強く取り組みを進めていくことが確認できました。

（戴いた意見のダイジェスト）

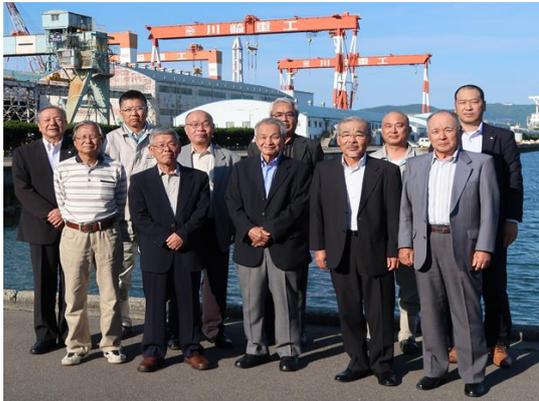
- ・ 再雇用制度の下、定年延長の流れもあって会員が減少傾向にある。
- ・ 地方議員の減少が政策実現活動を難しくしている。地方議員をしっかりと確保する必要がある。
- ・ 旧造船重機のOB会中心の活動となっている。旧鉄鋼は労使OB会が主流で参画が限定的。なにか対応策が必要。
- ・ 電話オルグが厳しい状況がある。しつこく掛けると逆効果の面もある。紹介者自身が電話する取り組みを強化すべき。
- ・ もっと2022年参院選で基幹労連組織内候補を擁立することを強く打ち出したオルグをすべき。
- ・ SNSを使った活動をもっと充実すべき。
- ・ 選挙区とコラボした取り組みを工夫すべき。



【北信越ブロック】



【中国ブロック】



【四国ブロック】



【近畿ブロック】



【北海道・東北ブロック】



【東海ブロック】

第90回メーデー中央大会 基幹労連シニアクラブより11名が参加！

4月27日（土）東京・代々木公園において第90回メーデー中央大会が3万7千人が集い開催されました。

神津会長（基幹労連出身）が「働く者こそが主役。時代を切り開くのは私たちが。この信念をメーデーで改めて確認したい」と力強く訴えられました。

基幹シニアからは、宮園会長を初め11名が参加し、現役組合員とともに、働く者の一層の団結を確認し合いました。



基幹労連中央退職者の会 第1回会員交流会が開催される！

6月2日（日）～3日（月）千葉県千葉市「JFEみやざき倶楽部」において、中央退職者の会第1回会員交流会が、会員20名、基幹労連本部4名の参加のもと開催されました。中央退職者の会は、「幹の会」を昨年改組し、基幹労連本部役職員OB、総合諮問会議構成員OBの有志を会員とする基幹労連シニアクラブの構成組織です。毎年全会員を対象とする「会員交流会」を持って、会員の交流を図ると共に、基幹労連の運動をOBの立場から支えていくことが会の目的となっています。

交流会は、澤田中央退職者の会会長、神田基幹労連委員長の挨拶で始まり、「基幹労連の現状と課題」について、和田口基幹労連副委員長より報告を受け、課題の共有化を図った上で、今回の中心テーマである「政策実現・田中候補予定者支援取り組み」について、活発に意見交流を行いました。そして、交流会の途中には田中ひさや候補予定者が駆けつけて来られ、会員と固い握手を交わされました。

最後に、各会員が自らのコミュニケーションネットワークを活かして積極的に支援に取り組んでいくことを確認し、交流会を終えました。



JAMシニアクラブからメッセージが届きました！

JAMは7月の参議院議員選挙で「田中ひさや」候補予定者を擁立し、組織をあげて取り組んでいます。JAMシニアクラブも、JAMが擁立する候補者を必ず国会へ送り出すことを決定し取り組みを開始しました。昨年の秋、両シニアクラブの総会で、JAMの「田中ひさや」候補予定者を基幹労連の代表として取り組むとの激励を受け取り組みに弾みがつきました。

JAMは、約2千の単位組合を組織しており、100人以下の単位組合が6割です。取り組みの軸は地方組織です。JAMシニアクラブも全国事務局長会議などを開催し、約8千人の会員に向けて31の地方組織を軸にシニアクラブの機関紙や各地方シニアクラブのイベントを通じて、参議院選挙の意義と擁立候補の名前の周知、「田中ひさや」を支援する応援者カードの取り組みを進めてきました。

JAMは3年前、国会に送り出すことができなかった苦い経験をしています。5月連休明けの状況は、JAMの現役もそうですが、シニアクラブも応援者カードの状況などからみて、3年前を上回る取り組みを展開しています。5月24日には、JAMの中央委員会に合わせ「JAM2019 政策実現総決起集会」が行われ、JAMシニアクラブも地方の代表者で構成される幹事会を開催し集会に合流しました。

3年前を上回る取り組みを進めているものの擁立候補を取り巻く状況は厳しく、選挙本番に向けて応援者をさらに増やし、現役と連携してOBに働きかける取り組みを強化することになっています。

モノづくりの代表を国会に送り出し、社会保障の基盤となる優良な雇用を確保し、グローバルイノベーションの中でモノづくり産業を発展させましょう。基幹労連の代表として送り出す取り組みに感謝し、基幹労連とJAMの連帯をさらに強固にしていきたいと思います。

